

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

CL: 保木本 山部 花本

2. 山行スタイル

沢登り

3. 目的

沢を楽しむ

4. 山域／ルート

比良 八池谷

5. 交通手段

自家用車

6. 行動記録

< 入山日 2024 年 7 月 6 日(土) 下山日 7 月 6 日(土)>

7 月 6 日(土)

駐車地出発 9:00 → 入渓 9:30 → 遡行終了 12:30 → 駐車地 14:00

7. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

8. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

先日の雨で多少増水していたのか？ 滝は直登できる状態ではなかった。

9. 感想

保木本

初めての沢。期待していたが、先日の雨の影響なのか滝はほぼ直登できず。ただ水量がすくなくとも滝直登できるのか？トホには、遊歩道とかいてあるが遊歩道とは思えない道だった。天気があまり良くないときの沢にはよいかと思いました。

山部

予報は梅雨らしく雨。ほぼ諦めかけていましたが「初級の沢に水量の多い中突っ込む」経験もしたいな、と思っていたところ、午前中は晴れでちょうどいい塩梅に。雷の予報もありましたが、登山道がすぐ横を走っているロケーションだったことと、ササっと上って昼過ぎに降りれば問題ないだろう、という判断で突撃。ところが、最初の滝からとんでもない水量で、ちょっと人類の手に負える感じではなかったので、巻いて巻いて巻きまくることに。暑いのにロクに水にも浸かれずテンション下がり気味でしたが、途中で程よい水量の滝に突っ込んでシャワークライムしたのが最高に気持ちよかったです。後半は少し水量も減り、しっかり登れたので楽しかったです。今回は先頭を歩かせてもらい、保木本さんに色々確認しながら考えて登っていったのがいい勉強になりました。ありがとうございました。この沢は人工のハンドルやステップがあって登るところがあったり、登山道も半分沢みたいな箇所がいくつもあり、ちょっと不思議なところでした。せっかく雨からも逃げきって謎の優越感に浸っていましたが、コンビニで降りるときにゲリラ豪雨級の雨でズブ濡れ…トホ

花本

予報では天候が悪く途中での撤退も視野にスタート。

入渓からしばらく堰堤がありここは巻いていく。

並行する登山道も使うが普段に比べ水量が多く完全に沢の水に浸かっているところがある。

ハツ淵の滝を抜けるとところどころ大岩や段差を下る水流に対抗してよじ登るルートが続く。天気も好転し太陽の光線が沢にさしてくる。

気温が高く暑かったが沢の水で冷やしながらなんとか耐える。

最後難しいところがあったがお助け紐を出して頂き最後まで登ることができてひと安心。

帰りは登山道で下山。楽しい沢でした！

